



署名にご協力下さった
皆様、どうもありがとう
ございました

みどりの会レター 第 29 号

2009 年 8 月 9 日

黒部丘・董平のみどりとくらしを守る会

住民の声で 工事協定書 4 日の締結中止

◎ 署名の声が届く！ ◎

前号レターでお伝えしたように、当初は 8 月 4 日に長谷工と黒東、董平自治会長の間で工事協定書が結ばれる予定となっていました。その後、現計画を認めるような協定締結に反対する署名運動が地域でなされました。

その結果、4 日には会合は開かれたものの、工事協定書はひとまず締結されなかったことが確認できましたので、取り急ぎご報告いたします。署名にご協力下さった皆様、本当にどうもありがとうございました。

【8 月 4 日までの動き】

●7 月 26 日 工事協定書説明会開催

8 月 4 日の工事協定書締結を中止するよう会長にお願いする署名活動をする事が決まりました。

●8 月 2 日 署名を黒東自治会長へ届ける

黒東マンション対策委員 5 名連名の意見書を添えて、署名（黒東住民 222 名、91 世帯、その他住民 4 名、2 世帯）を自治会長宅へ届けました。

●8 月 3 日 署名を董平自治会長へ届ける

董平でも、署名活動が行われました（署名文面は同じで、宛先は董平自治会長）。董平自治会員の方が署名（董平住民 49 名、17 世帯）を董平自治会長宅へ届けて下さいました。

●8 月 4 日 長谷工に要請書提出

当日の会合がキャンセルされなかったことが確認されたため、会合に先立ち黒東マンション対策委員 5 名連名の要請書を長谷工に提出しました。この 5 名の委員は、署名の意思に従い 4 日の協定書締結に反対する立場でしたので、締結のための会合には出席しませんでした。

引続き署名活動します。ぜひご協力を!

今回の署名活動では、1 週間足らずの限られた時間の中、訪問できなかったお宅も多数あります。

「現計画をそのまま認めることを前提とするような工事協定書を結ぶのではなく、少しでもこのまちに調和したマンション計画に変更するための話し合いをしてほしい」・・・計画発表から 1 年以上経ったいまでも、多くの住民がそう望んでいることが署名によって明らかになりました。

事業者も、このような厳しい経済情勢のもとで、大多数の住民の意向を無視して強硬な態度をとり続けることは難しいでしょう。

計画改善に向けて、少しでも多くの皆様に署名にご協力頂けますよう、どうぞよろしくお願ひ致します。

→署名文面は裏面に

◎(ご参考) 8月2・3日提出 自治会長宛緊急署名の文面全体 ◎

8月4日に黒部丘東部自治会長、董平自治会長および長谷工との間で、工事協定書の締結が予定されております。本日の黒東マンション対策委員会において、多数の自治会員の賛同を得て本署名の作成に至りました。

私たちは、現計画を容認することになる工事協定書の締結に反対します。工事協定が工事中の安全のために必要であるにしても、あえて根本的な設計変更に向けて万策を尽くすことを優先するのが、私たちの覚悟です。

工事協定の有無にかかわらず地域住民に配慮した安全な工事を行うことは、企業の責務です。私たちは以下の二点を表明し、自治会長には現状での工事協定書の締結をしないよう求めます。

1. 現工事計画を前提とする工事協定書締結には反対します。
2. 自治会員による締結の承認を得ないまま締結された工事協定書については、その存在および内容を認めません。

◎マンション問題 今後の予定◎

【長谷工とマンション対策委員との会合
環境アセスメント報告書の説明 (本日9日)】

このマンションが建った場合、交通や風害、熱環境など周辺環境がどのように変化するかをシミュレーションをした「環境アセスメント報告書」についての説明が長谷工からされる予定です。

みどりの会が昨年12月の直接交渉の場で長谷工に要求したのですが、その後1月に黒東マンション対策委員会が設置されましたので、今回は対策委員のメンバーが対応することになりました。

問合せ先: 黒部丘・董平のみどりとくらしを守る会事務局 TEL 090-9643-9555